

Photo&Text＝越智隆治
Edit＝伏見典子
Special Thanks＝たのはたダイビングサービス
Design＝PanariDesign

Strange Underwater Scenery In TANOHATA

岩手県

たの 野 畑 の 海

こんな海中景観、

見たことも聞いたこともない！

2017年4月に、新たにダイビングサービスがオープンした岩手県の田野畑村。

その海が我々に見せてくれたのは、1億1千万年も前の地層が浸食された、

この世のものとは思えない摩訶不思議な海中景観だった。

究極の海中ジオパークにオーシャナ取材班が初潜入！

いくつものポットホール（おう穴）が
ある海底は、何かのおとぎ話の中
に迷い込んでしまったかのような
錯覚を覚える



地層を堪能する 1億1千年前の

鵜の巣断崖。展望台からは、北側に高さ200mの5連の断崖がそびえ立つ景観が眺められる、その名の通りウミウの一大生息地。北山崎と並ぶ、ジオパークを感じさせる田野畑の景勝地だ



北山崎の高さ200mの大断崖は、「海のアルプス」と呼ばれるに相応しい景観。ヤマセという海からの霧に霞む時期には、日本昔ばなしに出てきそうな絶景が堪能できる

三陸海岸は、岩手県の宮古市を境に北と南で景観が大きく変わる。長い年月をかけて侵食された複雑に入り組んだ南三陸のリアス式海岸と違い、北三陸は、海から高さ200mまで突き出したようにせり上がった険しい断崖絶壁の海岸線が続く。

三陸地方は、日本ジオパークに認定されている。地層の隆起と沈降によって形成された断崖海岸を「海岸段丘」と呼び、この北三陸の大きなシンボルになっている。「海のアルプス」とも例えられる景勝地、岩手県田野畑村最南端の「鵜の巣断崖」や北部の「北山崎」は、そんな海岸段丘を代表する地形だ。特に、北山崎は公益財団法人日本交通公社の全国観光資源評価・海岸の部において、「特A級（最高ランク）」の評価を受けた絶景。

それ以外の海岸線も、激しく切り立った

断崖絶壁が続く。何度も隆起と沈降を繰り返し、バームクーヘンのようにむき出しになった地層は、前期白亜紀、約1億1千万年前の宮古層群という太古の地層だ。そんな景観を見ているだけでも、海中の地形がどうなっているのか想像して楽しみになってくる。



前期白亜紀、1億1千万年前の地層がむき出しになり海中まで没している宮古層群。田野畑のダイビングポイントの多くがこのダイナミックな地層地形を楽しむことができる

関連情報HPへ

この世のものとは思えない海中景観

海中版「ザ・ウェーブ」と呼ぶにふさわしい海中景観。水深約10mに、このようなおもしろい景観が広がっている



いくつものポットホールが作り出した摩訶不思議な海底地形。じっと見てみると、なんだか生き物の顔にも見えてきた

なぜこうなった？ 奇妙な海底地形

サップ船からエントリーすると、水深10mの海中に見たこともないような異様な光景が広がった。ピンク色をした岩肌がどこまでも続き、ボコボコといくつものポットホールが空いている。

「ここは、どこだ!? なんだこの奇妙な光景は?」

天気は曇り気味で、透明度も悪かったこともあり、不気味さも加味されていたが、この世のものとは思えない海中景観だ。おどろおどろしいと言えばそうなのだが、初めてみるこの景観がおもしろくて、夢中になってカメラのシャッターをきっていた。

しばらく同じような景観が続いたあと、突然、波で侵食された地層面に一変した。ピンク色をしたその地層は、何かに似ている。そう、アメリカのアリゾナ州にある不思議な地形「ザ・ウェーブ」だ。海水に浸食され

て丸みを帯びた地層は、まさに「ザ・ウェーブ」そのものだ!

ポイント名は、「コイコロベ」。今開拓が進んでいる田野畑の海では、ここが間違いなく田野畑海中ジオサイトを代表するダイビングポイントになるだろう。地形好きのダイバーなら一度は潜ってみる価値はあるはずだ。



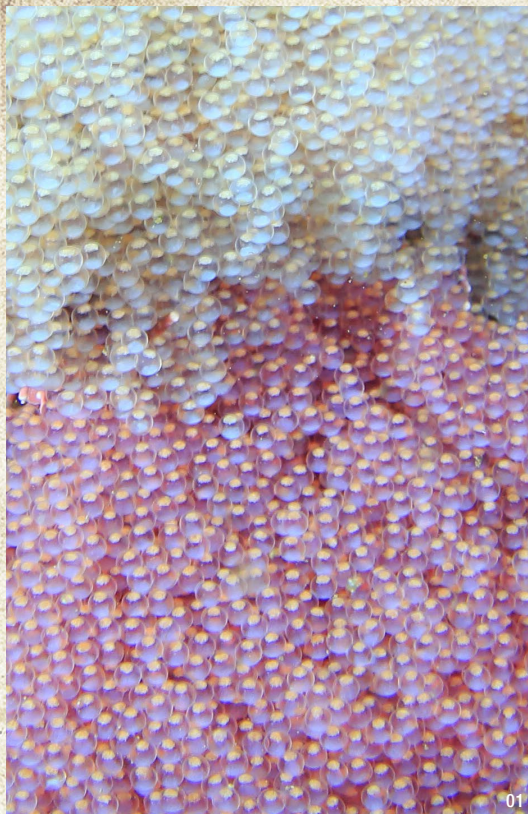
地層の下に光を当てると、思いのほか鮮やかな色彩に彩られていることに驚かされる



ところどころ何かの生き物に見える。これは、スターウォーズのジャバ・ザ・ハットか、カネゴン(古い)か?

海中版「ザ・ウェーブ」とポットホールの境目が地層ではっきりと別れているのも興味深い





三陸のウミウシを代表するガーベラミノウミウシがこんなにいっぱい

三陸海岸定番の生物たち

複雑に入り組んだ南三陸と違い、断崖絶壁に囲まれた海岸線で見られる海の生物たちがどのようなものなのか？

今回はダイビング期間が2日という短い日程のロケだったが撮影していて楽しかった。それほど三陸の魚には詳しくないが、たのはたダイビングサービスのガイドによると三陸海岸定番の魚はしっかり見られているらしい。これから調査が進めばさらに見られる魚も増えるだろう。

今回の取材中、体色を黄金色にしたアイナメのオスを頻繁に見かけたので、ガイド

に理由を聞いたところ「水温が15度を切ったから、アイナメが卵を守っているシーンが見られるかもしれないですね」とのことだった。やはり、このタイミングで撮影できる一番のネタはアイナメのオスの卵保護。黄金色のアイナメが、あまりチョロチョロ遠くまで動き回っていないのを見つけて様子を見ているのを発見した。魚卵フェチにはたまらない被写体だ。

このほかにも、“三陸のニモ”と呼ばれるキツネメバルや、いかにも東北の魚っ

ぱいムラソイ、梅干をゼリーで包んだお菓子みたいなベニクラゲ。驚いたのは、これも三陸を代表するウミウシらしいのだが、ガーベラミノウミウシがあまりにも大量にいたことだ。

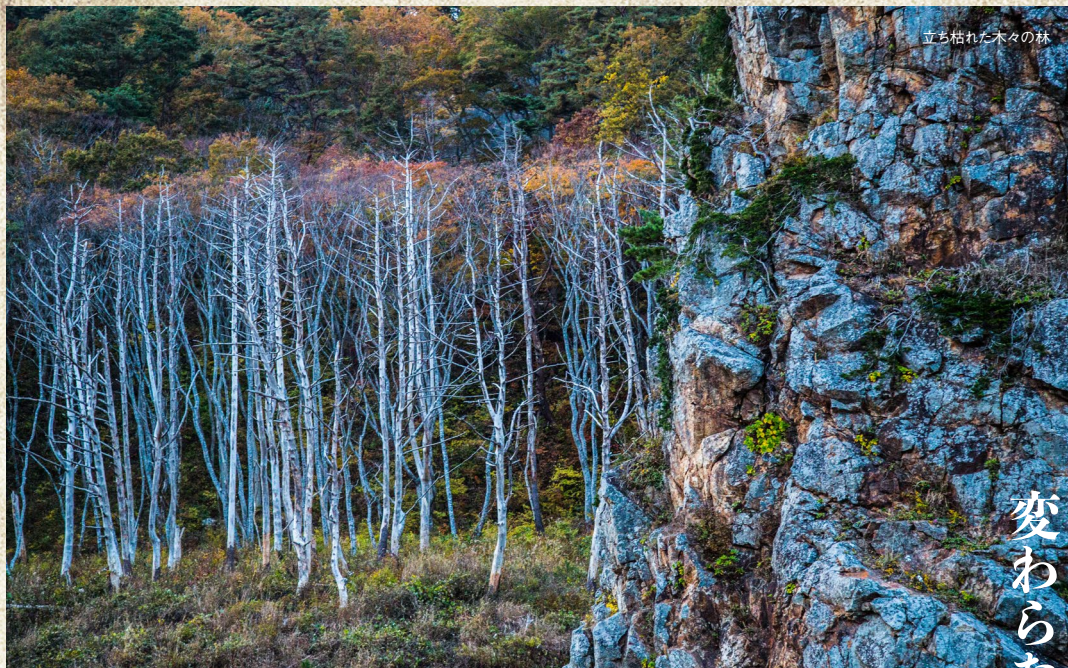


ベニクラゲはなんだか違う星から来た生命体のようにも見えた



01、色が違う2つの卵塊は、それぞれ母親は違うようだ。つまり、多い時には10匹ものメスの卵を1匹のオスが守っている。うーん、羨ましい？ 02、机浜ビーチにいたアサヒハナハゼ 03、黄金色の体色をしたアイナメのオスは、メスが産卵した卵が孵化するまで卵を守り続ける 04、ピンク色の岩礁には、たくさんのマボヤが付着して華やかだ

関連情報HPへ



立ち枯れた木々の林



津波で30m近く動かされた巨石

変わっていくものと 変わらないもの

震災の痛手から復興が進む海岸線は、新しい建物や道路が建設されていて、不謹慎だが、なんだか少し違和感を感じてしまうこともある。古き良き時代の面影が失われ、すべてのものが真新しい物になっていく。しかし、それも時を経て、いつしか「渋み」と「風格」を身につけていくのだろうか。

そんな建設物と違い、自然の中にはその面影をそのまま残す場所もある。ハイベ浜の断崖海岸には、古代の貝の化石がそのままの状態であるのが見られる。そこに、少し色の違う巨大な岩が転がっていた。津波でここまで流されたとのこと。

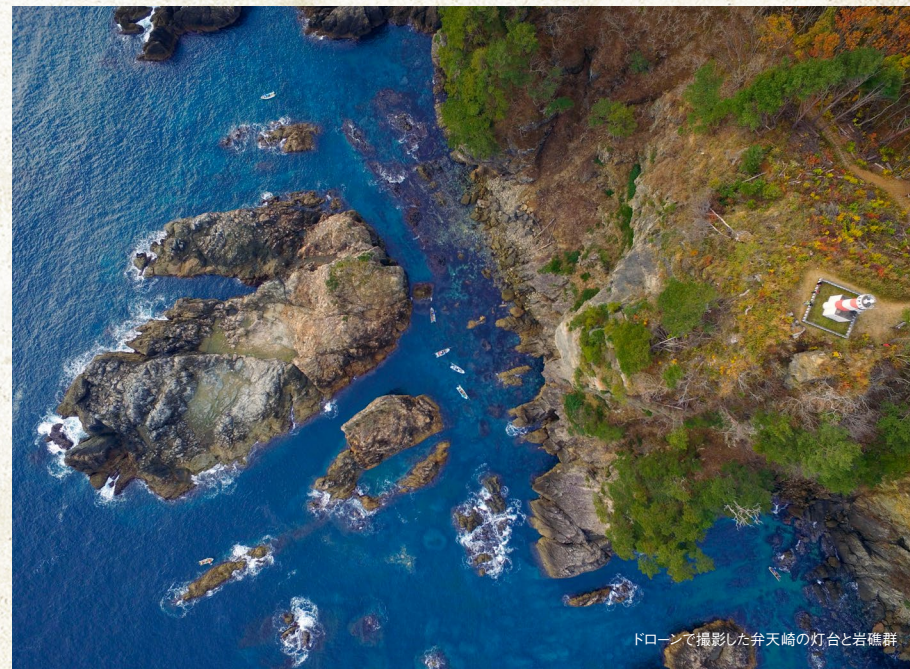
さらに、机浜の北にある海岸には、立ち枯れた木々が周囲の雰囲気とも相まって、



ハイベ浜の地層の断面の中に見られる貝の化石

「ハリーポッターの世界みたい」と同行のライターが呟いたほど、雰囲気がある。

空からドローンで撮影した弁天崎は、ゴツゴツの岩礁が点在し、アワビの良好な生息環境があるようだ。



ドローンで撮影した弁天崎の灯台と岩礁群

関連情報HPへ

Stay & Gourmet



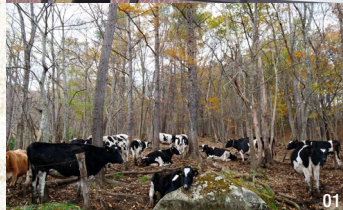
目の前に海が広がる「ホテル羅賀荘」
Tel.0194-33-2611 <http://www.ragaso.jp>
和室の窓からは美しい海が見晴らせる



北山崎展望台の側にある「白花シャクナゲ荘」
Tel.0194-33-2085
<http://www.shokokai.or.jp/03/0348411122>
名物磯ラーメンはさっぱり塩味



カンパネラ田野畑駅の駅舎



01



02



03



04



05

素材を満喫

田野畑の自然が生み出した



ジオフードのカツカレーライス (北川食堂)

01, ハイジの世界を期待して行ったが牛たちは林の中で休息中だった 02, 美味しくて毎日飲んだ「田野畑山地酪農牛乳」 03, 山地酪農の吉塚牧場見学ツアーに参加した観光客 04, ホタテやエビの入った釜飯が人気の特別御膳(白花シャクナゲ荘) 05, 秋の三陸御膳(ホテル羅賀荘)

田野畑村は、海岸線の景勝地による観光だけでなく、「銀河鉄道の夜」の作家・宮沢賢治にゆかりがある地でもあり、三陸鉄道北リアス線の駅がある田野畑駅と島越駅には、それぞれ銀河鉄道の夜の登場人物などの名前がつけられている。

また、乳牛の放牧が盛んで、丘陵地を開拓した山地酪農で育てられた乳牛のミルクは、とても新鮮でおいしい。ダイバーに人気の北川食堂は、メニューの中に、ジオフードと命名されたカツカレーがあり、刻まれたカツが断崖を表現している。宿泊施設は、窓からの絶景と大浴場が人気の「ホテル羅賀荘」や、北山崎の目の前にある「白花シャクナゲ荘」が人気。一般家庭に泊まる民泊もあり、地元の家庭料理が楽しめることも。



ダイバーに人気の北川食堂



新しい歴史を作る 岩手県田野畑村

ダイビングサービスがある机浜は、震災前には漁師たちの番屋群があり、「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれていた、昔ながらの美しい漁村風景があった場所。

しかし、津波によってすべてが流失。そのあと「机浜番屋群再生プロジェクト」により、以前の面影を復元しつつ、塩作り番屋、食体験番屋、サップ船アドベンチャーズなど、さまざまなエコツーリズム体験ができる体験村として復活した。

ダイビングサービスもその中の一つで、

「海体験番屋」として組み込まれている。サービス内は、複数のホットシャワーや、ウォッシュレットが完備されたトイレ、ロッカールーム、ブリーフィングルームなど、設備がとても充実している。

ダイビングポイントは、現在、ポートポイントは、「オーライド大根」や、「コイコロベ」など8つあり、ビーチポイントは、「机浜」と「ホテル羅賀荘前」の2つだ。

たのはたダイビングサービスのガイドの辰巳あきさんは、「田野畑の海は、日本の海岸美を誇る隆起した断崖や、約1億1千

年前の海底地層が間近に見られます。ぜひ、たくさんの方にこの田野畑の雄大な自然の魅力を、体験してもらいたいです。たのはたダイビングサービスは2017年春にオープンしたばかりですが、遠くから来るダイバーに、より安全で楽しいダイビングが提供できるようにサービスとポイント作りに努めております。もちろん、季節ごとの海・里・山の幸が、アフターダイビングでお待ちしています」とダイバーが田野畑の海に来てくれることを期待している。

Diving Service

たのはたダイビングサービス

Tel.0194-33-2881
〒028-8402
岩手県下閉伊郡田野畑村机142-3
海体験番屋内
<http://tanohata-ds.com>



Access

電車の場合
宮古・久慈から三陸鉄道で約45分
盛岡～宮古間は、106急行バスかJR山田線で約2時間
※田野畑駅からタクシーで10分（「机浜番屋群」まで）

車の場合
盛岡（岩泉経由）・八戸から約2時間
宮古・久慈から約1時間